

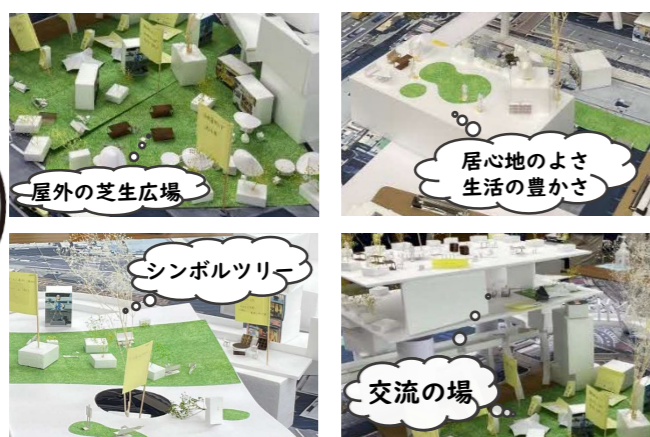
03 まちづくりワークショップ

まちづくりワークショップは令和4年3月12日から9月4日までの計6回、意見の積み重ね形式で開催しました。参加者の延べ人数は197人と多くの市民の皆さんに参加いただきました。まちづくりの4つの「方向性」と「まちの将来像」を踏まえ、市民の暮らしをより良くするために、将来JR茨木駅西口周辺がどうなれば良いか、駅前でどのように過ごしたいかなどのアイデアやニーズを参加者の皆さんとグループで話し合いました。

ワークショップ開催の様子



第4回ワークショップでは模型を作成しました！一部ご紹介



参加者の皆さんから出た多くのアイデア



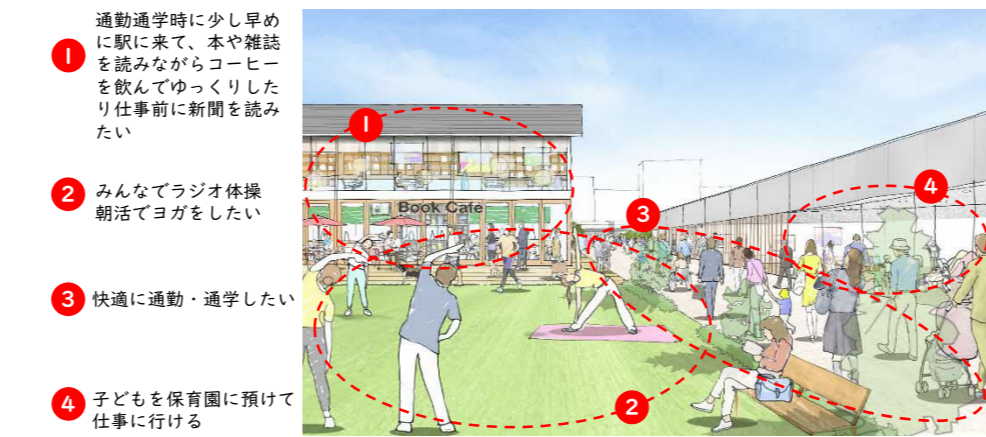
参加者の皆さんのアイデアを重ね合わせて作成した駅前のイメージ図

たくさんのアイデアを整理すると、共通する5つのキーワードが確認されました。このキーワードと参加者の皆さん一人一人の想いを重ね合わせて、6つの駅前のイメージ図を作成しました。



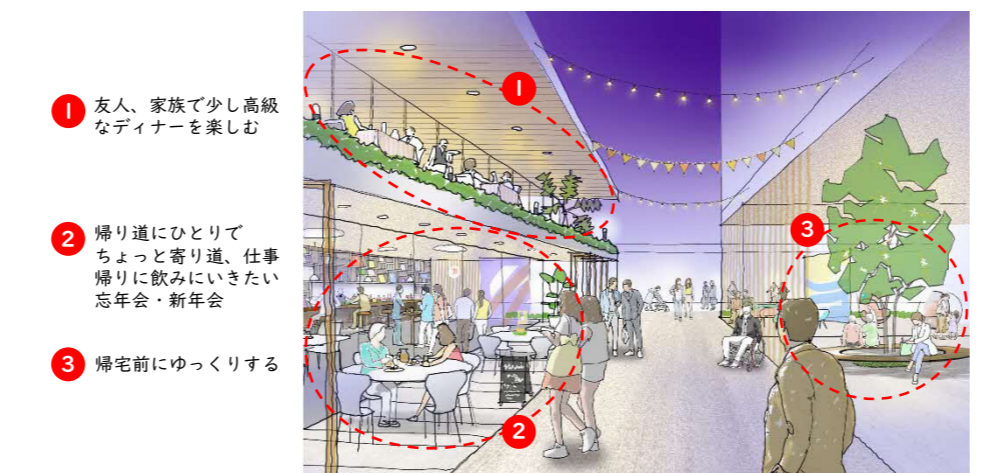
① いつもの朝と豊かな日常 (平日・朝)

いつもの朝の慌ただしい通勤・通学。そんな日常からは少し離れて、駅を利用する多様な人が家と職場・学校との切り替わりに、朝活でゆっくりと読書をしたり、ヨガを楽しんだり、自分を豊かにする時間、過ごし方。



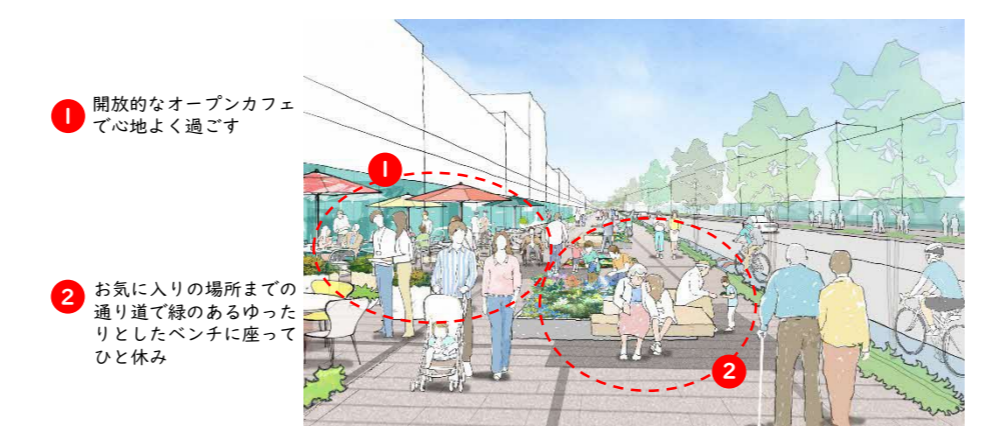
③ 暮らしを豊かにする潤い・出会い (平日・夜)

仲間、同僚が集い食事と会話を楽しみながら交流をしたり、仕事帰りにふらっとお気に入りの店に立ち寄ったり、子どものお迎えの合間にゆっくりとしたり、一日の終わりに彩りや潤いが感じられる良い雰囲気の時間。



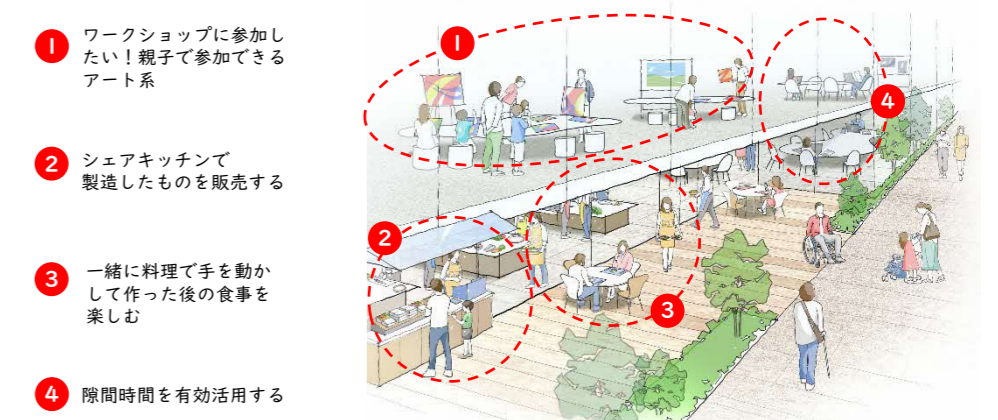
⑤ 居心地が良く歩いて楽しい (全時間帯共通)

沿道建物の低層部にはオープンカフェが設けられ、ゆったりとした歩道には緑やひとと休みできるベンチがあったり、駅前と駅周辺の目的地やお気に入りの場所までの通り道が、心地よく素敵な場所に。



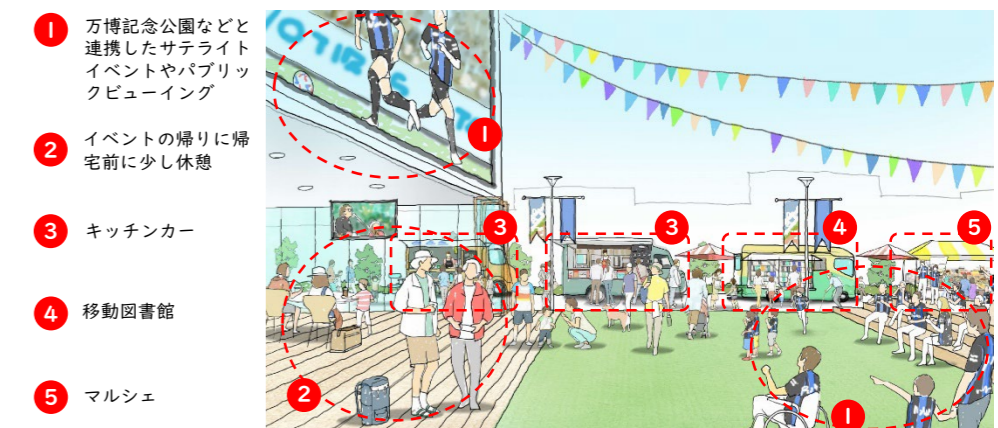
② 普段の暮らしに加わるプチ贅沢なひととき (平日・昼)

親子、友人、老夫婦、同僚といった近い間柄の人が便利な駅前で時々集まり、シェアキッチンを使っておいしいランチと会話を楽しんだり、趣味のワークショップに参加したり、コワーキングスペースで仕事をしたり、普段の生活とは違う、ちょっと贅沢な時間を過ごす。



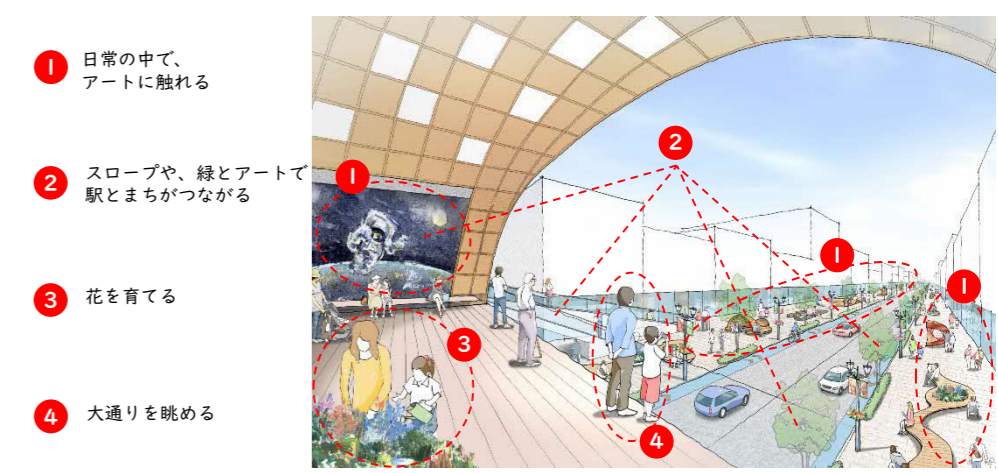
④ いつもとちょっと違う非日常 (休日)

万博記念公園等でのイベントと連携したサテライトイベントや、キッチンカーやマルシェが駅前でも実施されて賑わったり、イベント帰りの人たちが少し休憩しながら家族、友人と会話をしたり、平日に利用する駅前とはちょっと違う、非日常的な時を過ごす。



⑥ まちの顔・周辺とのつながり (全時間帯共通)

人々が憩うことのできる茨木の顔となるような駅前空間、駅前が拠点となったアートが感じられるまち、みどりや花を育てて交流や魅力を育んだり、茨木らしいセンスが感じられる、まちの拠点。



※イメージ図は現時点でのものであり、今後の検討過程において変更する可能性があります。